

生桑振興会だより

第 41 号
H22 年 12 月 24 日
発行 生桑振興会



住宅用火災警報器の配布と設置について

！ 生桑振興会では、地域ぐるみの設置運動を展開します。

火災による犠牲者を少しでも減らし、安全安心な地域づくりに向けて、住宅用火災警報器を各世帯に無償で配布（設置）します。
(注) 2 個目からは有償（有料）となります。

① 設置義務について

消防法により、すべての住宅に火災警報器等の設置が義務付けられています。また、設置時期は平成 23 年 5 月 31 日までとされています。

② 振興会が地域ぐるみ設置運動を展開する理由

◎普及促進…高齢者の一人暮らしや、高齢者のみの世帯が多い生桑地域では、各家庭において「機種選定・購入・設置・維持管理」することが困難となっています。そこで、振興会が一括購入し、関係団体（福社区・消防団等）と協力して設置を進めていきます。

◎地域全体で防災意識を高める…振興会では、安全・安心な地域づくりに向けて、自主防災組織の設立を目指しています。火災警報器設置は、私たちにできる防災活動の一つです。地域全体で取り組みを進めることにより、防災意識を高めることができます。

◎悪質な訪問販売対策として…火災警報器の設置義務化に伴い、特に高齢者を狙って不適正な価格で火災警報器の購入を迫る、悪質な訪問販売の事例が全国各地で報告されています。地域ぐるみの設置運動は、悪質商法の被害を防止する有効な取り組みです。

③ 火災警報器の設置場所について

火災警報器の設置場所は、条例により「寝室」と定められています。ただし、2 階建て住居（寝室が 2 階）であれば「寝室」と「階段」に設置が必要となります。また、住宅火災の発生頻度が高い台所への設置も効果的とされています。

④ 火災警報器の無償配布（設置）について

- ◎各世帯に無償で 1 個配布・設置します。
- ◎2 個目からは有償（有料）です。
- ◎配布対象は、生桑地域内に住居のある全世帯を対象とします。（住民登録を問わない）

⑤ 配布（設置）希望申込について

別紙「住宅用火災警報器配布（設置）希望調書兼申込書」に必要事項を記入の上、各福社区の代表者へ提出してください。
(提出締切：平成 23 年 1 月 22 日)

⑥ 配布（設置）スケジュール（予定）

12月24日～	事業実施の周知、申込受付
1月22日	申し込み締め切り
2月中旬	設置日の連絡
2月中旬～3月下旬	配布（設置）

シリーズ『これからの生桑』① ～現状と課題を整理し、これからの地域づくりを考えます～

平成 16 年に生桑振興会が発足して 6 年が経過しました。この間、皆様の協力により、旧生桑小跡地整備や敬老会・ふれあい祭の開催など、一定の成果をあげています。

しかしながら、地域の実態に即した活動や住みよい地域に向けた活動は停滞しているのが現状です。

このことから、振興会では、生桑地域の現状と課題を整理し、今後の活動展開や将来像の組み立てを行うことにしています。また、上記の内容については、福社区や集落単位での懇談会やこの紙面を通じて地域の皆様にお伝えしていきます。

シリーズ 1 回目は、生桑の人口・世帯数等の推移をみていきます。

戦後の高度経済成長は、都市圏への人口集中と地方の過疎化に拍車をかける要因となりました。過疎化（人口減少・少子高齢化）の進展は、地域活力の低下と集落機能（道・水路の共同管理、伝統芸能継承、葬儀、祭など）の維持が困難になることを意味します。単に数値だけをみると、悲観せざるを得ない状況にあります。

年	人口	世帯数	高齢化率
1970 (S45)	1,147	323	16.48 %
1980 (S55)	969	290	21.04 %
1990 (H2)	853	277	27.02 %
2000 (H12)	728	262	36.75 %
2010 (H22)	624	243	46.15 %

(生桑地域の人口等推移、数値根拠：住民基本台帳)

しかし、何ら手立てをしないと、地域の活力は失われるばかりです。私たちには地域を守っていく責任があります。みんなで生桑の将来を真剣に考えていきましょう。

敬老会・生桑ふれあい祭 ご協力ありがとうございました。

去る 10 月 10 日の「敬老会・第 8 回 生桑ふれあい祭」の開催にあたっては、地域の皆様方に多数ご参加いただき、誠にありがとうございました。お陰をもちまして盛会裏に無事終了しました。

今後においても住民同士の交流を図り、活力ある地域づくりを進めていきますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い致します。

なお、開催にあたり、多くの皆様から御花を頂戴しました。重ねてお礼申し上げます。



〔収入の部〕		〔単位：円〕	
区分	決算額	摘要	
1 市補助金	301,500	敬老会補助金	
2 寄付金	398,000	御花 134 件	
3 繰入金	191,565	振興会一般会計より	
4 雑入	5,500	反省会会費	
計	896,565		
〔支出の部〕		〔単位：円〕	
区分	決算額	摘要	
1 報償費	235,000		
出演謝礼	205,000		
運転手謝礼	30,000		
2 敬老事業費	371,000		
敬老対象者食事代	170,000		
敬老対象者記念品	201,000		
3 運営費	290,565		
イベント経費	103,210	餅、景品代	
消耗品費	17,850	事務用品	
食糧費	67,543	スタッフ食事、反省会	
役務費	13,467	郵送料、クリーニング	
使用料・借上げ料	67,760	車両、会場使用料ほか	
その他経費	20,735		
計	896,565		

『生田ふれあい無人市』が解散・閉店となりました。

～ 解散にあたり、ご寄付を頂戴しました ～

平成 2 年に開設され、長年にわたり新鮮野菜等をご提供いただいた『生田ふれあい無人市』が 10 月 3 日付けで解散されました。

解散にあたり、生桑振興会に対し、金 14,500 円のご寄付をいただきました。

無人市会員皆様方のこれまでのご労苦に心から感謝申し上げますとともに、厚くお礼申し上げます。

ご芳志

次の方から、生桑振興会にご寄付をいただきました。ご厚意に対しまして深く感謝申し上げます。

〔香典返礼〕
田尻 昇 様
岡原 康則 様

裏面には、住宅用火災警報器の設置場所をイラストで掲載しています。警報器の申込数を算出する際の参考にしてください。

裏面もご覧ください。